

平成21年度あおり農商工連携ファンド助成対象事業

平成21年8月3日から平成21年9月11日まで募集したところ、15件の応募があり、審査委員会での審査の結果、下記の8件の助成対象事業を決定しました。

(1) 経営革新助成事業

	事業名	事業内容	助成予定額 (申請事業額) (千円)	申請者名
1	アマモ種苗生産・供給技術開発	ナマコなどを養成するアマモ類種苗の生産・販売 ・アマモ類種苗の陸上での新栽培方法の開発 ・アマモ類種苗の供給体制の整備	1,181 (2,362)	合同会社 epco 青森市漁業協同組合野内支所
2	奥入瀬川流域産の農産物を活用した「十和田おいらせ餃子」による地域活性化	地域食材を用いた加工食品の開発・販売 ・ガーリックポークやプレミアムニンニクなどを用いた餃子の商品化に関する技術開発 ・首都圏等でのテストマーケティングの実施	2,800 (8,964)	有限会社奥入瀬フーズ 十和田おいらせ農業協同組合
3	青森県産はたて貝殻、リンゴジュース粕と消火器粉を組合わせた肥料で育てた農産物の販売	未利用資源の有効利用と肥料化 ・使用期限が過ぎた消火器薬剤とリンゴの搾り粕・ホタテ貝殻を用いた肥料製造技術の開発 ・肥料効果に関する圃場試験	2,489 (8,236)	株式会社グリーンウィズエコ 青森東日流農産
4	ボイル帆立耳の活用・商品化	ボイルホタテ外套膜の商品化 ・ボイルホタテ外套膜の軟化及びつや出し技術の開発 ・ボイルホタテの外套膜のフライ・佃煮等の商品開発	615 (8,000)	あおり食品株式会社 北田漁業部
5	ホタテ貝殻を原料とする可食性インクを応用したリンゴへの半自動型パッド印刷装置の開発と新規ビジネスモデルの構築	リンゴを宣伝媒体とした新規ビジネスモデルの確立 ・ホタテ貝殻可食性インクの開発 ・リンゴ専用のパッド印刷装置の開発 ・印刷リンゴの保存性及び包装技術の開発	2,857 (4,375)	株式会社カロリアジャパン 乗田園
6	下北発「(仮称)菜の花マヨネーズ」試作・開発	菜種油を用いた新商品開発 ・一番搾りの菜種油と地場産卵(卵黄2個卵)を用いたマヨネーズの開発 ・マヨネーズ原料と油の分離防止のための技術開発	530 (1,120)	有限会社すぎやま 農事組合法人斗南養鶏
7	飼料米活用によるエコ卵の開発並びにその普及	耕作放棄地等を活用した飼料米で生産した鶏卵の普及 ・飼料米を用いた配合飼料の開発と鶏卵の評価	1,750 (10,000)	株式会社蓬田グリーン開発 有限会社青森ファーム
8	あおりナマコ販路拡大	中国での県産乾燥ナマコのブランド化・販路開拓 ・新たな流通ルートの開拓 ・県産乾燥ナマコの市場性調査	1,589 (7,500)	株式会社大豊 青森市漁業協同組合 後潟漁業協同組合

助成予定額は、今後の精査により変更することがある。

(2) 経営革新支援機関助成事業

今回該当なし